

(様式 2)

令和5年 5月 7日

女性の就農環境改善計画

(令和5年度女性の就農環境改善支援事業)

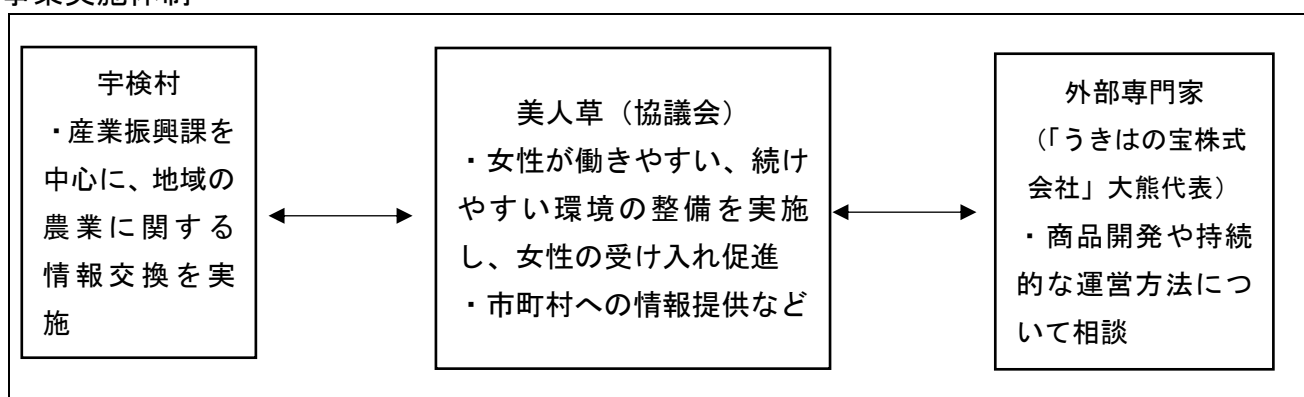
実施するメニュー (該当に○)	第4の(1) (施設等確保の取組)	
	第4の(2) (グループの新たな取組)	○

1 地域取組主体の概要

名称	美人草	
所在地	鹿児島県大島郡宇検村湯湾1847番地1	
代表者	栄 雄大	
主な組織の事業内容(注)	<ul style="list-style-type: none">・ 事業内容：ハーブの生産及び加工・販売※ハーブは、ヨモギ、ツワブキ、月桃、センダングサ など※現在は生産中心。今後、加工・販売に取り組む予定。・ 構成：9名(うち女性8名)・ 規模：943㎡(66㎡+450㎡+175㎡+252㎡)・ 活動継続に向けた取組 本人たちの希望に可能な限り配慮した農業活動 リハビリテーション職との連携・指導	女性農業者の 人数：8人

(注) 主な組織の事業内容は、具体的に記載する。

2 事業実施体制



(注) 実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

3 女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための取組計画（実績）

（1）地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題（注）

<p>【社会情勢等を踏まえた地域の女性農業者の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村内では高齢化が進み、高齢者、高齢女性が増えている。高齢女性の方がいかに農業を続けていけるかが課題。 ・現時点で、地域内で生産できる環境を整えているが運営費の面で課題を要しており活動を持続するためには、商品開発や販路開拓を実施し、収益化することが課題。 <p>【その他女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性メンバー8人は、生産部門（ハーブの露地栽培）に取り組んでいるが、個別の希望に沿った内容・時間で活動ができる環境を整え、かつ高齢女性が活躍できる仕組みを作ることで女性の農業者の呼び込みと定着を進めていくことが必要。
--

（注）（2）、（3）の取組に係る具体的な課題を記載する。

（2）女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の確保にかかる計画（実績）

確保する施設等の区分	①託児スペース ②男女別トイレ ③更衣室 ④休憩スペース ⑤アシストスーツ、高さが調節できる作業台等の備品の確保 ⑥その他							
	区分番号 (注1)	時期	確保場所	数量	利用する 女性農業者 (注2) の人数	事業費 (千円)	国庫補助金	備考
計								

（注1）「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択した場合は、確保する施設等の名称も記載すること。

（注2）農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された者を含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事者とする。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。（3）において同じ。

（注3）必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

(3) 女性農業者グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展のための新たな取組にかかる計画（実績）

取組区分 ①商品等開発 ②先進地視察 ③会員募集・農業体験の受入等にかかる取組 ④研修会 ⑤マルシェ開催に向けた取組 ⑥その他							
区分番号 (注1)	時期	内容	実施回数	参加する 女性農業 者の人数	事業費 (千円)		備考
						国庫補助金	
①	R5.7	現地調査、視察	1回	8	旅費10	10	
①	R5.7	専門家による商品開発、販路 手法、加工技術の指導	8回	8	謝金274	272	謝金規定に基づき算出
①	R5.7	加工品のデザイン、広告宣伝 費、販売促進の委託	1回	8	委託費220	218	
計			10回	24	504	500	

(注1) 「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。

(注2) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

【事業成果及び今後の展開】

※第4の(2)「グループの新たな取組」のみ記載

※区分番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品づくりに関しては、翌年度以降の販売事業計画も併せてご記入ください。

区分番号	事業成果、今後の展開
①	商品開発を行い販売することで、本団体の経済的な自走を成立させることで活動の持続可能性を実現する。又、より多くの女性の就農の機会の確保となることも目指す。 具体的には、初年度に2件の商品開発と売り上げ50万円を達成することを目指す。女性農業者に関しては令和5年度に2名、令和6年度に3名の新たな人材確保を目指す。

4 本事業を活用した取組計画（注）

時期	取組内容・回数	備考
R5 7月	<p>【女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための応募団体における取組（既存の取組を含む）】</p> <p>当協議会では、協議会に属する女性就農者の希望に寄り添った形で農業活動を支援・運営している</p> <p>又、リハビリテーション職との連携・指導による、心身のケアを行うことで、農業活動離れを防ぐことを狙っている</p> <p>【本事業を活用した取組の実施方針】</p> <p>美人草では、9名（うち8名が女性）にてハーブ生産の活動を実施している。現在の活動に加えて商品開発と販路開拓を行っていくことで、本協議会の持続的な運営を目指す。又、運営状況に応じて新たな女性就農者を呼び込み、更なる活動の拡大を目指したいと考えている。</p> <p>【具体的に実施する取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家による現地調査、視察 1回 (現地3泊4日, 前泊あり) 7月 ・ 専門家による商品開発、販路手法、加工技術の指導 11回（令和5年7月～令和6年2月）月1回の8ヶ月 8月 ・ 村内フリーマーケットにて試件的に販売 1回 10月 ・ 村内観光拠点にてイベント 1回 11月 ・ 村外イベントにて試験的に販売 1回 1月 ・ 村外にて販売 1回 <p>事業実施後も開発した商品販売を実施し、現在の活動を持続的に行っていく。又、同時並行的に地域の女性就農の希望者の掘り起こしを進め、女性農業者の新規確保を目指す。更にSNSやコミュニティFMにて活動に関する情報発信を行い活動が他の地域に波及するよう努める。</p>	<p>【目標】</p> <p>商品開発2件 商品売上50万円</p>

（注）3の取組を踏まえ、5の目標の達成のために実施する取組内容を具体的に記載する。

5 女性農業者確保の目標（注）

翌年度末までの女性農業者の新規確保人数（注）	事業実施年度	2人
	事業実施翌年度	3人
	合計	5人
（女性農業者の新規確保人数の内訳）		
自営農業就業者 人、雇用就農者 人、 アルバイト等 5人		

（注）事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。

（参考）

上記女性農業者確保の目標に係る女性の確保の計画 （第4の（1）「施設等確保の取組」のみ記載）
【事業実施年度】 （取組予定業務） （採用時期） （人数）
【事業実施翌年度】 （取組予定業務） （採用時期） （人数）

※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。